

神奈川県立大学が関東地方整備局を訪問

～山下公園の新しい利活用に向けた政策提言～

神奈川県立大学人間科学部社会調査ゼミナールの学生 15 名が関東地方整備局港湾空港部を訪れ、山下公園の新しい利活用に向けた政策提言を行いました。

当ゼミナールでは、横浜市における公開空間の在り方を研究テーマとしておりますが、今回クルーズで活気のある大棧橋と山下公園周辺にスポットをあて、横浜港沿岸部緑地（公共空間）の利活用に関するアンケート調査を行いました。このアンケート調査により利用者が自然に親しみ、散策だけでなく多様な楽しみ方を通じて、市民と観光客との交流が生み出されるような公園の新たな利活用の方策についてとりまとめたものです。

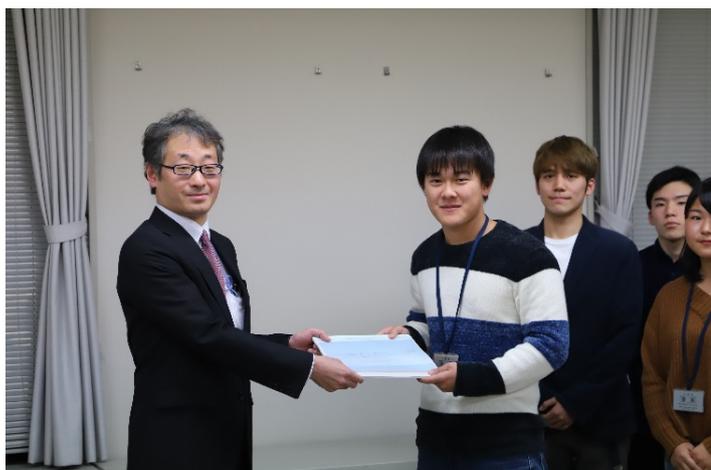
関東地方整備局港湾空港部では、今後、社会資本の整備を行っていく上でより良い行政サービスの提供を目指すための基礎資料として活用することにしました。

日 時：平成30年12月17日（月）16：00～17：00

場 所：国土交通省関東地方整備局港湾空港部

出席者：神奈川県立大学 人間科学部 人間科学科 教授 松本 安生

神奈川県立大学 人間科学部 人間科学科 社会調査ゼミナール所属 学生15名



原田港湾空港企画官が神奈川県立大学学生からの政策提言を受領



出席者全員との記念撮影



神奈川県立大学学生による説明



右 神奈川県立大学 松本教授